

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 日本教育公社

②事業者情報

名称：	ワークショップ南羽生	種別：	就労継続支援B型
代表者氏名：	内山 直樹	定員(利用人数)：	40 名
所在地：	〒 348-0033 埼玉県羽生市須影745番地1	TEL	048-560-1733

③評価実施期間

令和 7 年 7 月 31 日 (契約日) ~ 令和 8 年 3 月 9 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

利用者の個別性を重視することや、高齢化等への対応力強化を重要課題として、提供するサービスの質的向上と職員の資質向上を図った。「クレド準備委員会」を設置して「共愛会Credo」の策定を組織的に行った。「共愛会Credo」の策定にあたり職員アンケートを実施し、職員も「共愛会Credo」の策定に参画する形で、「共愛会Credo」の行動基準を明確にした。現在は、「共愛会Credo」等の策定が完了したことを受けて、これらに対する職員の理解を深めることにシフトしている（「クレド準備委員会」は、「クレド運営委員会」となっている）。自己評価の「特に評価の高い点」においても、「クレドという行動指針ができたことで、どういった職員になって欲しいのか具体的にわかるようになり、イメージしやすくなった。個別支援計画を基に、定期的に利用者の方一人ひとりに合った支援の見直しを行っている」「クレドを通して、地域への周知や福祉サービスが提供されている。一人ひとりの利用者様に対して手厚くサービス提供を行っている」「毎朝クレドを読み上げている」「クレドがあることで、どう行動したらよいか分かる」「クレドの周知徹底を行っている」等、「共愛会Credo」等の策定と実践を評価する意見が多い。

◇特にコメントを要する点

事業計画（①「共愛会Credo」を活用した職員育成（支援力の向上を含む）を図る、②ICTとアナログを併用する形で組織力の向上（縦横の関係強化）を図る）を、「リーダー会議」や、「運営会議」、「職員会議」等において周知する取り組みを行っているが、自己評価における「事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。」については、「a」が40.0%にとどまっている（「b」は50.0%、「c」は10.0%）。このため、事業計画を職員に周知する更なる取り組みや、職員が事業計画を理解する更なる取り組み等に期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

利用者の個別性を重視し、「高齢化を見据えた作業提供内容の改善・見直し」への取り組みが評価されたことを受け、利用者利益を追求すべく、より一層の運営努力を重ねてゆく。

「共愛会Credo」に基づき、実践的かつ有効な人材育成手段を早期に見出して着手する。同時に、日々これを研鑽し、さらなる有効手段の発見や「職員ニーズにも呼応する具体的方法の確立」を次年度の大きな目標として掲げたい。

「事業計画の周知・浸透」は、職員がいつでも自由に閲覧可能なファイルを事務室内に設置して情報共有を図る。これに留まらず、所内会議やグループ合同会議の場において、適宜、議題としても取り上げ、進捗状況への意見交換が活発に行える職場環境の醸成に努める。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり